添　付　資　料

目　　次

1　行動日程 …… 41
2　面談者一覧 …… 42
3　クジルオルダ州略図…… 44
4　写真 …… 46
5　質問(1)に対する回答 …… 59
　1)　現有装置一覧　(抜粋、別添参照)…… 59
　2)　機器保守状態…… 59
　3)　新病院設計図…… 59
　4)　新病因組織図…… 59
　5)　新病院の経営状態…… 60
　6)　活動状況…… 60
6　質問(2)に対する回答 …… 64
　1)　クジルオルダ州の人口　(別添参照)…… 65
　2)　医療統計…… 66
　3)　医療費　(抜粋、別添参照)…… 71
　4)　医療従事者の教育…… 72
　5)　レファラル体制…… 74
7　機材計画調査 …… 76
　＊初回の要望機材及び新たに提出された要望機材
　及び協力の可能性、留意点。 …… 76
　　1　新規要望機材リスト …… 76
　　2　新規要望リストの内容と所見…… 76
　　3　機材導入に伴う問題 …… 78
8　保健分野発展構想　(抜粋、別添参照)…… 79
　(2000 年より 5 年間の計画構想)
別添(1)　初回要請書(機材リストを含む) …… 83
別添(2)　今回提出された要請機材リスト …… 91

1. カザフスタン行動日程

10月21日(土)	成田LH715 14：10発
22日(日)	フランクフルトLH648 13：50発
23日(月)	アルマテイ01：30着 稲垣団長と合流、大使館にて保坂書記官と打ち合わせ
24日(火)	アルマテイ発カザフ航空9Y763 07:05発アスタナ定刻着。 保健庁AYDARKHANOV氏、経済省 BAISH氏、第二小児病院DEMOCHKIN院長と面談、院内視察。ｱｽﾀﾅ発ｶｻﾞﾌ航空9Y790 15:45発 アルマテイ17:30着。
25日(水)	アルマテイ10:30発SCAT航空でクジルオルダへ出発の予定で空港へいったが現地で受け取った航空券の不備で出発できず、19:25発の別便でシムケント着21:30。
26日(木)	08:30 陸路クジルオルダへ出発。 14:30 クジルオルダ市南端のチェックポイントでク州保健庁Ms Akumoral, Dr. Mordarali のを受ける。 ホテルへ荷物を置き、保健庁DAUETBAEV次官表敬。 その後クルジオルダ市立病院 訪問 Dr. Turugunbay院長と面談。州知事Mr.Nurugisaev 表敬
27日(金)	旧病院訪問 院内視察。 午後団長帰国。
28日(土)	団員打ち合わせ。
29日(日)	資料整理
30日(月)	午前 旧病院調査。 午後 新病院統計部で要求。
31日(火)	午前 診断センター視察 Dr.Baimuruzaevセンター長と面談。保健庁訪問 意見交換。 午後癌病院を視察し、Dr. Toleutaiuly 所長と面談。所内視察。
11月 1日(水)	シルダリア地区病院視察。Dr. Merei Abylagazy地区保健局長と面談。視察
2日(木)	午前資料整理。 午後新病院で小児科部門視察。その後院長より質問への回答を受領。 工作室視察。 Mr. Pan Leontii 機材保守会社社長と面談。
3日(金)	午前 資料整理。 午後大津留団帰国。
4日(土)	受領した資料の翻訳。整理。
5日(日)	資料翻訳整理。
6日(月)	新病院にて医療機器保守の現状視察。
7日(火)	資料整理。 夕刻Dr.Dauletbaev保健局次官、Dr. Turganbay 表敬。
8日(水)	当初予定の9日には便がなく、1日早くクジル離れる。 午後14:30 クジルオルダ発、アルマテイ着。
9日(木)	大使館表敬。保坂書記官へ報告。
10日(金)	資料整理。
11日(土)	アルマテイ発04：30、 フランクフルト着06：50 フランクフルト発 14：00
12日(日)	成田着 09:00

調査団員

総　括：稲垣富一　　JICA国際協力専門員

技術参与：大津留　晶　　長崎大学医学部　原研分子医療部門

医療機材：松本　健　　日本開発サービス（株）

露語通訳：小原　志浦　　（財）日本国際協力センター

2　面談者一覧

2000.10.24

*保健業務庁

アルマン・T・アイダルカノフ	保健庁長官
Arman.T. Aydarkhanov	
ジャバーエフ・ドウィセバイ	治療・予防機関活動調整次長
DzhababaevDuisebai	

*経済省

ベリクK・バイシェフ	投資調査部部長
BerikI K。Baishev	

*第二小児病院

セルゲイM. デモチキン	病院長
Sergey M. Demochkin	

10.26

*ダウレトバエフ・ダミル・アバイデイルダエビッチ	地域保健局次長
Dauletbaev Damir. Abaidildaevich	
*ツルガンバイ マカノフ	クジルオルダ市地域病院長
Turganbay Makhanov	
*セリクバイ ミルギサエフ	クジルオルダ州知事
Serikbai Mirgisaev	
*アルテサロフ アクモラル	マーケッテイング・改革部長
Alnazarov Akmoral	
*セイタリエフモルタガリ	事故医療センター長
Seitaliev Mordagari	

10.27

*ムゥイルザイルメトフ・カイラット	クジルオルダ州病院（旧）副院長
Myzalmetof Kairat	
*カシャコフ ボラット	クジルオルダ州癌診療所副所長
Kashakov Bolat	
*パン・レオンチイ	医療機器管理・院長顧問
Pan Leontii	

10.30

トウイセンバェパ・ウルザダ	医療センター統計局長
Duisenbaeva Urzada	

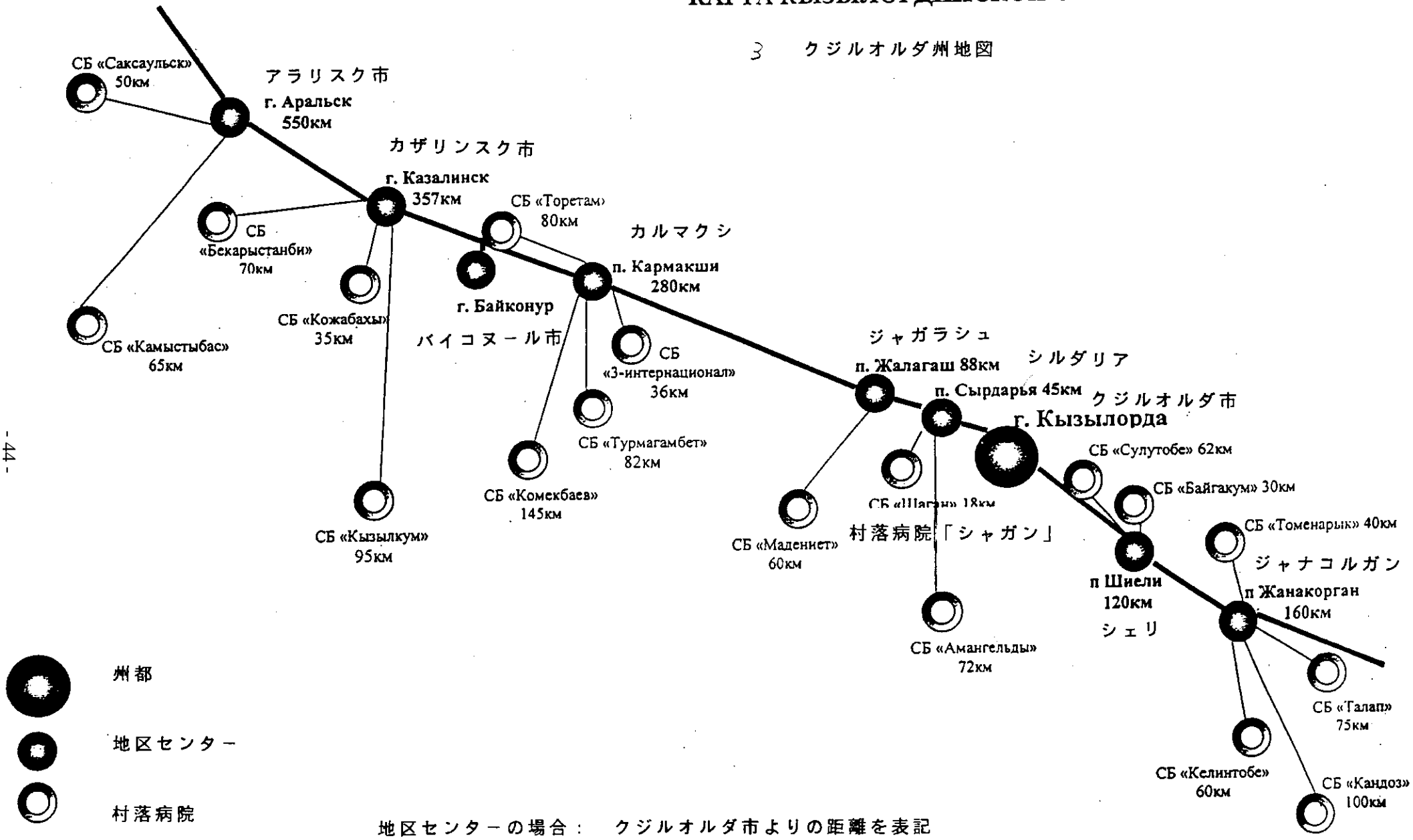
10.31

*ハイムルザェフ・シャクシパ	州診断センター 所長
Baimuruzaev. Zhaksybai	
*トレウタイウリ・カリパイ	州癌診療所長
Toleutaiulyl Karibai	

11.1	*メレイ　アブイルガジ	シルダリア地区保健局長
	Merei　Abylgazy	
	*アルギンバエフ・アブドウラ	地区病院院長
	Argynbaev　Abudullax	
	*ゼトフ・シンタス	地区病院副院長
	Zetov　Shintas	
	*プルシャノヴァ・ビゼンクル	地区診断センター所長
	Pruzhanova　Bisenkul	
	*スタベル・リュボフ	地区センター人事部長
11.2	*コ　プァデイム	クジルオルダ市地域病院副院長
	K0.Vadim	

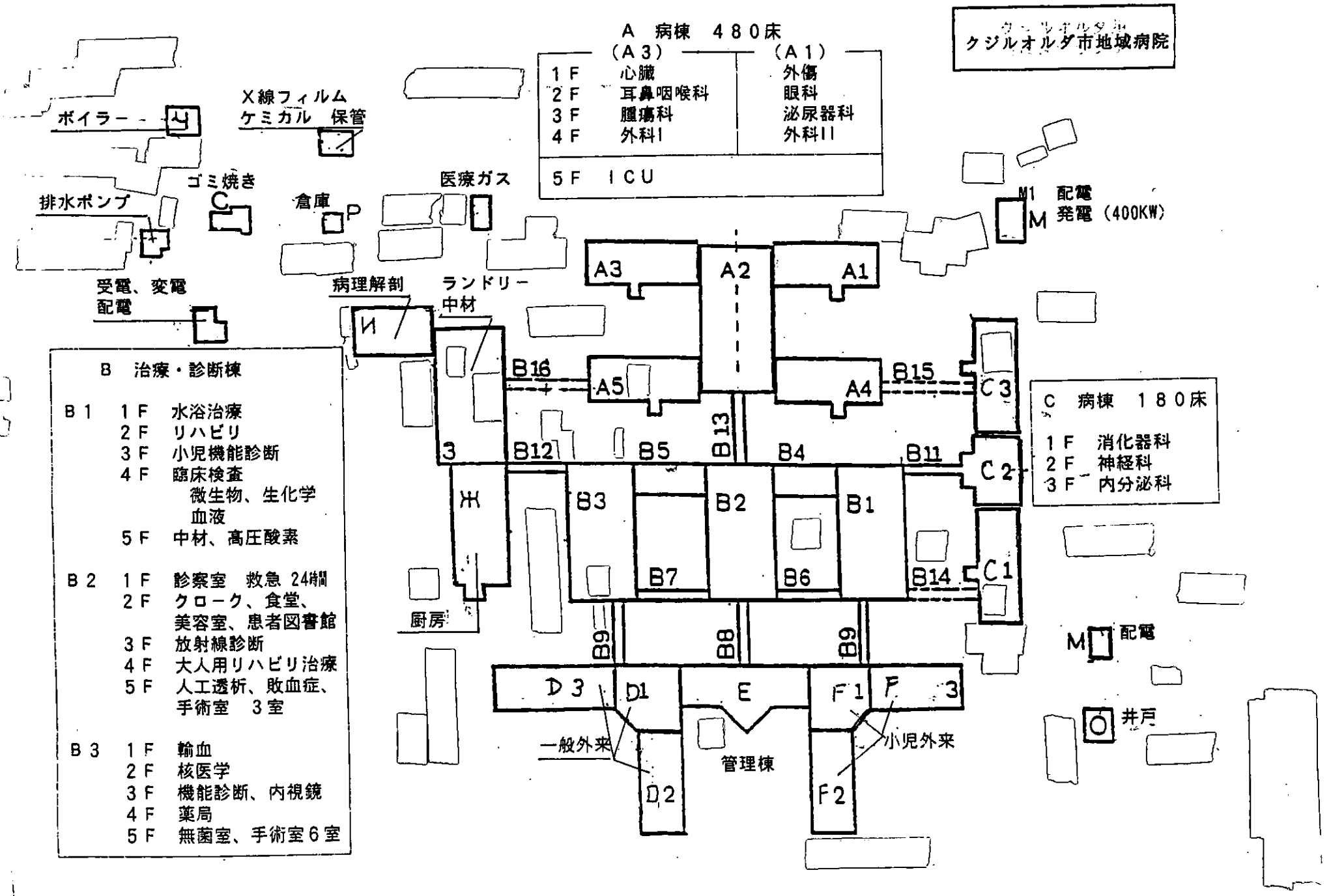
КАРТА КЫЗЫЛОРДИНСКОЙ ОБЛАСТИ

3　クジルオルダ州地図



地区センターの場合：　クジルオルダ市よりの距離を表記

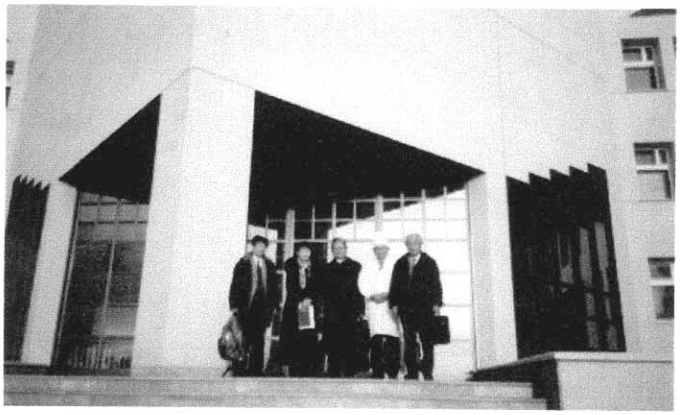
村落病院の場合：　地区センターよりの距離を表記


クジルオルダ市地域病院
A 病棟 480床
(A3) (A1)
1F 心臓 外傷
2F 耳鼻咽喉科 眼科
3F 腫瘍科 泌尿器科
4F 外科I 外科II
5F ICU
C 病棟 180床
1F 消化器科
2F 神経科
3F 内分泌科
B 治療・診断棟
B1 1F 水浴治療
2F リハビリ
3F 小児機能診断
4F 臨床検査
微生物、生化学
血液
5F 中材、高圧酸素
B2 1F 診察室 救急 24時間
2F クローク、食堂、
美容室、患者図書館
3F 放射線診断
4F 大人用リハビリ治療
5F 人工透析、敗血症、
手術室 3室
B3 1F 輸血
2F 核医学
3F 機能診断、内視鏡
4F 薬局
5F 無菌室、手術室6室
ボイラー
X線フィルム
ケミカル 保管
ゴミ焼き
排水ポンプ
倉庫
医療ガス
M1 配電
発電 (400KW)
受電、変電
配電
病理解剖
ランドリー
中材
厨房
M 配電
井戸
一般外来
小児外来
管理棟

付録資料：目でみるクジルオルダ医療事情

写真(1)：クジルオルダ市東部の平原の中に建つ「ク」市地域病院（新病院）概観遠景。

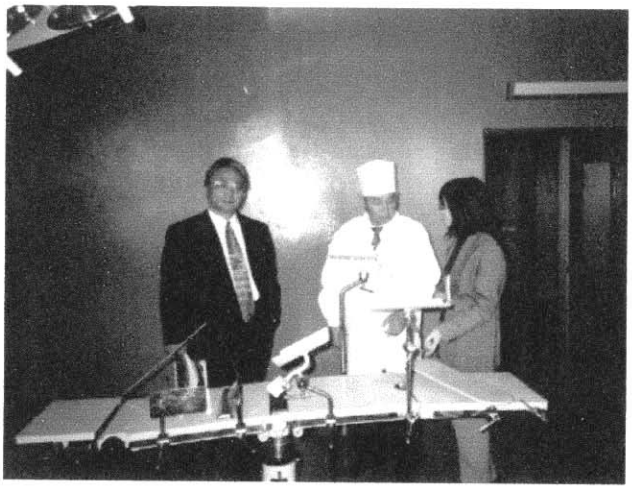
写真(2)：クジルオルダ市地域病院（新病院）概観近景。写真に映っている建物は小児科病棟と新生児病棟。



写真(3)：新病院の玄関で。向かって右より松本さん、マハノフ病院長、稲垣団長、保険省のアクアマルさんと大津留(筆者)。

写真(4)：クジルオルダの病院では1病室に6-9ベットが普通だが、新病院では1病室あたり1-2ベットで差額ベットもあり、写真の病室はシャワー、トイレ、テレビ、冷蔵庫がある有料病室である。

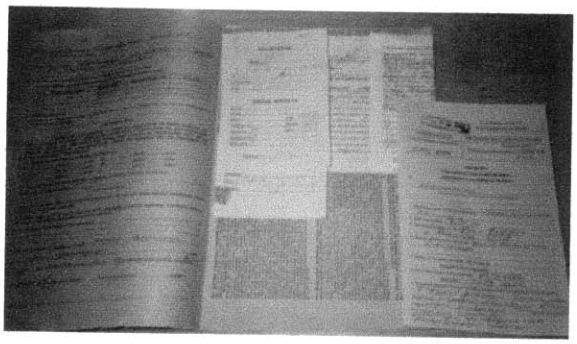
写真(5)：新病院のカンファランスルーム。



写真(6)：新病院の手術室。建物は新しいが、手術室の構造は以前のままである。説明を行なっているのはマハノフ病院長。

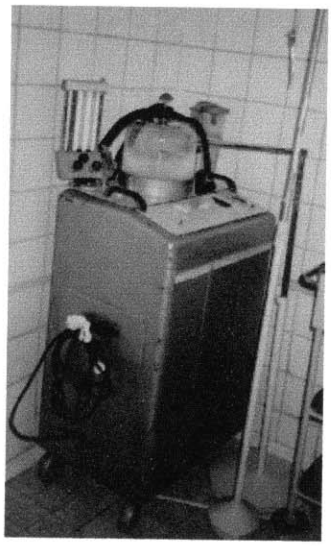
写真(7)：旧病院の正面玄関。現在ここにまだ外科・婦人科・整形外科・小児外科・外傷科・脳神経外科・救急部・ICU・耳鼻科など400床が新病院に移動できず診療を続けている。

写真(8)：旧病院のICU。

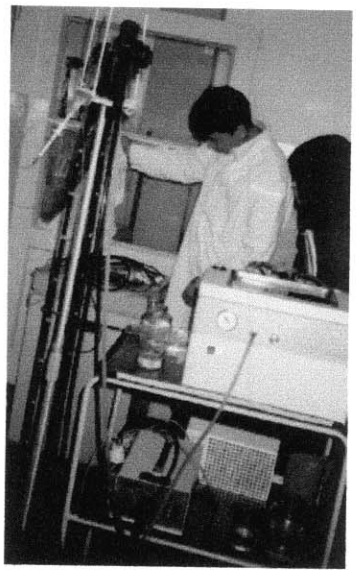


写真(9)：印刷物は値段が高いため、カルテは古紙や不用になった印刷物の裏紙を用いている。

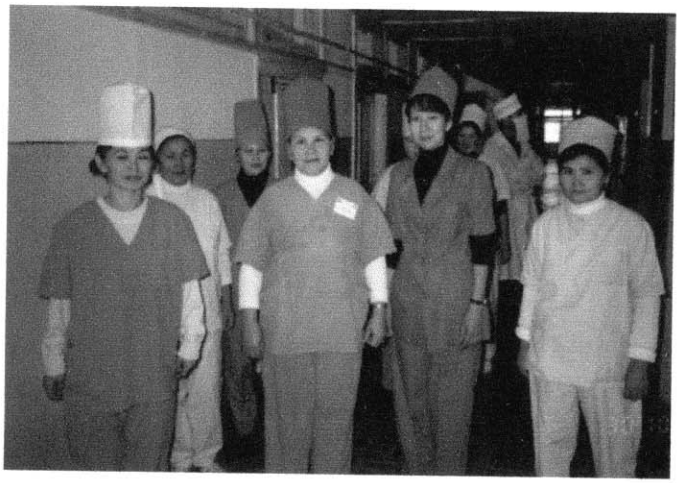
写真(10)：フィルムはさらに高価なため重要なもの以外は紙に印刷している。



写真(11)：レスピレター。



写真(12)：内視鏡室。ファイバーや光源も１０年近く使用している。



写真(13)：州立病院（旧病院）の病棟で、准医師・看護婦の人達。

写真(14)：ポータブルX線撮影装置。